

**製品名: FDC-SP ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab10892**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率 IHC 1:100-1:300, ICC/IF 1:50-1:200, ELISA 1:20000-1:40000

分子量

**抗原情報**

遺伝子名	FDCSP
別名	FDCSP; C4orf7; Follicular dendritic cell secreted peptide; FDC secreted protein; FDC-SP
遺伝子 ID	260436.0
SwissProt ID	Q8NFU4
免疫原	ヒト FDC-SP の C 末端領域から誘導された合成ペプチド。アミノ酸範囲: 26-75

**背景**

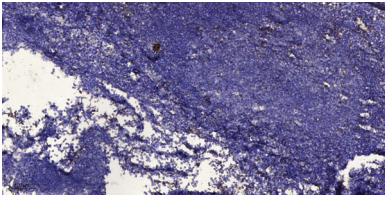
この遺伝子は、濾胞樹状細胞で発現する小さな分泌タンパク質をコードしています。このタンパク質は活性化 B 細胞に特異的に結合し、抗体反応の調節因子として機能します。また、癌細胞の遊走と浸潤を促進することで腫瘍転移に寄与すると考えられています。

[RefSeq 提供、2011 年 12 月]機能: B リンパ腫細胞の表面に結合しますが、T リンパ腫細胞の表面に結合しません。これは、B 細胞に作用する分泌メディエーターとしての機能と一致するものです。組織特異性: 扁桃腺、リンパ節、気管で豊富に発現し、前立腺で強い発現を示します。甲状腺、胃、結腸では発現が低くなります。、

## 研究分野

-

## 画像データ



パラフィン包埋ヒト扁桃腺の免疫組織化学分析。1、抗体を 1:200 に希釈した (4°C で一晩)。2、抗原賦活化には Tris-EDTA、pH9.0 を使用した。3、二次抗体を 1:200 に希釈した (室温、30 分)。